

8/11 国際シンポジウム

歴史のねつ造は許さない!

日本軍「慰安婦」メモリアル・デーを 国連記念日に!!

歴史の事実をかき消そうとする勢力が今もはびこる日本。
「慰安婦」にされた当事者の女性たちが語ってくれた証言を今こそ、最大限に活かそう!
記憶をめぐる闘いは彼女たちの尊厳回復のための闘いでもあります。



1991年8月14日、記者会見にて発言する金学順さん

8月14日 は、1991年に韓国の金学順さんが日本軍「慰安婦」被害者として初めて名乗り出た日です。

この勇気ある告発がきっかけとなって、アジア各地の被害女性たちが半世紀の沈黙を破って証言し、日本政府の責任を問い始めました。この告発は、日本軍性奴隷制の実態を明らかにしただけでなく、旧ユーゴ紛争をはじめ紛争下で性暴力被害を受けた女性たちに勇気を与え、軍隊そのものの暴力性を暴いていきました。

歴史の事実を歪めようとする勢力が跋扈する今、この女性たちが明らかにした真実を再確認し記憶する運動が、いつにも増して強く求められています。

記憶の闘いは、尊厳回復の闘いであり、問題解決のための闘いです。

8.14 日本軍「慰安婦」メモリアル・デーを国連記念日に!! キャンペーンは2013年8月、第一歩を踏み出します。

とき
2013年8月11日

10:30 開場
11:00～ フィリピンから
日本軍「慰安婦」被害者証言
12:00～ 休憩
13:00～ シンポジウム
16:30 閉会

場所
東京ウイメンズ
プラザ・ホール

参加費
1,000円

国際シンポジウム

戦時性暴力被害者から変革の主体へ

- 女性の参加が平和を持続可能なものにする
～安保理決議1325号のコアメッセージ～
アンワラル・チャウドリー (元国連安保理議長)
- 日本軍「慰安婦」被害者が変革の主体になるとき
尹美香 (韓国挺身隊問題対策協議会常任代表)
- 記憶を普遍化し、未来に引き継ぐことの意義
岡真理 (京都大学教員)
- 特別参加 フィリピンから 日本軍「慰安婦」被害者証言
- ファシリテーター 渡辺美奈
(日本軍「慰安婦」問題解決全国行動)

「8.14 日本軍「慰安婦」メモリアル・デーを国連記念日に!!」キャンペーンは全国各地で様々な催しを行っています。海外からゲストを招く国際会議の開催をはじめとして、キャンペーンには費用がかかります。ぜひ、賛同カンパにご協力ください!
※お名前の公表可・不可を御記載下さい。

賛同金 ● 1口個人1,000円 / 団体2,000円 郵便振替口座番号 ● 02760-1-84752 加入者名 ● 日本軍「慰安婦」問題解決全国行動2010

主催 | 日本軍「慰安婦」問題解決全国行動
8・14 を国連記念日にしよう! キャンペーン

連絡先 | E-mail ianfu-kaiketsu@freeml.com
FAX 03-3202-4634

8/11 国際シンポジウム 戦時性暴力被害者から変革の主体へ | 発言者プロフィール



アンワラル・チャウドリーさん
バングラデシュ出身。国連大使(ニューヨーク、1996—2001)ほかチリやニカラグアなどの大使を歴任。元国連事務次長、元国連上級代表。2000年3月8日、国連安保理議長として初めてジェンダー平等と平和は不可分であるとの議長声明を発表、同年10月31日の「女性・平和・安全保障」に関する安保理決議1325の採択実現に尽力した。



尹美香さん
韓国挺身隊問題対策協議会(挺対協)常任代表、戦争と女性の人権博物館館長。挺対協結成直後からスタッフとして活動。1000回もの水曜デモを続け日本軍「慰安婦」問題を国際問題化させたこと等を評価され「ヌッポム(遅い春)統一賞」受賞。著書に『20年間の水曜日』(東方出版、2011年)。



岡 真理さん
京都大学教員/現代アラブ文学・第三世界フェミニズム。エジプト留学時代からパレスチナを訪れ、そこで起こっていることの意味を問い続けてきた。特に「記憶の政治学」をキーワードに現代世界の構造的暴力を考察し、精力的に社会批評を行っている。著書に『記憶/物語』(岩波書店)、『アラブ 祈りとしての文学』他。

特別参加



レチルダ・エクストレマドゥラさん
リラ・ピリピーナ(被害者と支援者の組織)のコーディネーター。被害者の正義の回復とともに、性暴力を生み出す軍隊のありようそのものを問う運動を展開。「パマナ」(継承者)を組織したり、フィリピン国内の各大学と連携するなど、継承と教育も常に視野に入れて活動している。



ピラール・フリアスさん
ルソン島南カマリネス州生。16歳の時、洗濯をしているところに現れた2人の日本兵にナイフで顔を刺されるなどの後、輪かんされる。村が焼かれ学校に避難。日本軍部隊により、3人の女性と一緒に昼夜腰縄で繋がれたまま、山中をゲリラ討伐に連行され、輪かんされる日々が続いた。



エステリータ・デイさん
1930.4.28、ネグロス島タリサイ市生。83歳。1944年14歳のとき、市場に物売りに出かけ、ゲリラ討伐に巻き込まれ、女性たちと一緒に、日本軍駐屯地に連行され、輪姦される。昼は日本兵の服の洗濯と掃除、夜は輪姦という日々がアメリカ軍がタリサイ市に来るまで続いた。

会場

東京ウィメンズプラザ 案内地図

東京都渋谷区神宮前 5-53-67



- 電車
「渋谷駅」下車徒歩12分
「表参道駅」下車徒歩7分
(地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線)
- 都バス 渋谷駅【渋谷88系統】バス4分
「青山学院前バス停」下車徒歩2分

8/14 水 デモの案内

第1回 日本軍「慰安婦」メモリアル・デー@東京

とき：2013年8月14日(水) 18:00pm

場所：新宿東口 アルタ前

金学順さんが名乗り出た8月14日を日本軍「慰安婦」メモリアル・デーにしよう！これは、2012年12月、韓国、台湾、フィリピンの「慰安婦」被害者と各国の支援者が一堂に集まったアジア連帯会議で決まりました。

今年の8月14日はその第1回目。さらに韓国で毎週開かれている水曜デモの日でもあります。この日、世界や日本の各地で様々なアクションが企画されていますが、

国際連帯

歴史のねつ造を許さない！

初めての日本軍「慰安婦」メモリアル・デー、東京アクションにご参加ください！

東京ではど真ん中の新宿に集合します！

5月13日に大阪の橋下市長が「慰安婦」は必要だった」発言をしてから、ちょうど3か月にあたるこの日、被害者を傷つける行為や歴史の否定を糾弾し、一刻も早く「慰安婦」被害者への謝罪と補償を求めるため、一緒に声をあげましょう！

手作りプラカードや、鳴り物も大歓迎です。